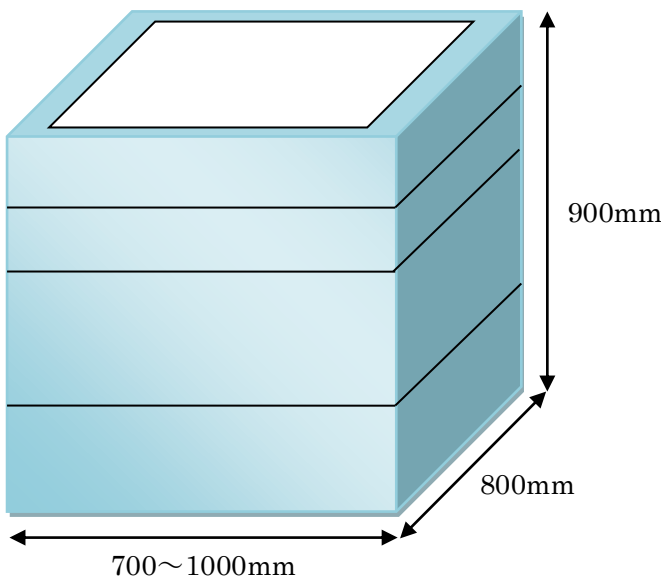
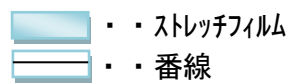


- ★長期保管をする場合、番線が錆びてくる事があります。品質上問題ありませんが、2~3ヶ月を目処に使い切ってください。
- ★積み置きする場合、ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
- ★積み置きした『あんしん君』の上には重い物を置いたり載せたりしないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- ★『あんしん君』は、家畜が食べても安全な原料を使用しておりますが。粗飼料ではございませんので、飼料槽に入れて給餌する事は避けてください。

★梱包形態★



1個あたり 250kg 前後に圧縮して梱包していますので、積み上げ保管ができ、場所をとりません。

側面に番線、その上から側面のみストレッチフィルムでラッピングしています。

番線の本数は標準で3本です。

標準サイズ寸法は

高さ 900 ミリ×幅 800 ミリ×奥行き 700~1000 ミリです。(長さは重量によって異なります)

ロングサイズは奥行きが倍の長さになります。

※サイズにつきましては、±20 ミリ程度の誤差があります。

【免責事項】

地震、風水害などの天災地変及び当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

『あんしん君』の上手な使い方

『あんしん君』は、単独で使用することも、現在ご使用中のおがくず・もみ殻等と混合して使用することもできます。

★『あんしん君』単独使用の場合★

- 肉用牛の場合、成牛1頭（床面積5㎡/頭）に対して、概ね30～40Kgが目安です。牛舎への敷き込みは、一度に全量を入れずに、最初半分の量を敷き込んで頂き、床が汚れてきたら残りの半分の量を追加するのが効果的です。床面積が5㎡/頭を超える場合は、床が見えなくなる程度に追加してください。
- 乳用牛の場合、慣行敷料（麦稈、おがくず等）と比較して少ない量で同様の給水効果が得られます。特にフリーストールのベッドに使用すると、定期的な交換により乾燥した牛床が保て、安楽性の向上につながります。
- つなぎ牛舎でのご使用の場合、ミルクカーへの混入がないようご注意ください。
- 『あんしん君』は、乾燥した古紙で作られている為、敷き込み直後は扇風機の風で舞う事があります。そのような時は、少量のおがくずやもみ殻、又は戻し堆肥を『あんしん君』の上に散布してください。

★『あんしん君』とその他敷料との混合使用の場合★

- 『あんしん君』は、ほかの敷料との混合使用が出来ます。

畜種（飼養形態）	『あんしん君』の使用量の目安	従来の敷料との混合割合の目安
乳用牛（フリーストール）	初回投入 30～40Kg/頭 その後、随時補給します。	必要に応じて添加
乳用牛（つなぎ飼養）	5～10Kg/頭 随時除去交換します。	必要に応じて添加
肉用牛（敷料多給型）	40～50Kg/頭・月 2回に分けて使用してください。	あんしん君：従来の敷料 30～70%：70～30%
肉用牛（敷料節約型）	20～30Kg/頭・月 2回に分けて使用してください。	あんしん君：従来の敷料 30～70%：70～30%

- 肉用牛の場合、牛の成長に合わせて、混合率を変えていくと効果的です。（育成時はあんしん君を多めに敷く、成長にあわせ木質系資材をふやすなど）
- 未粉碎のもみ殻は水分給水が少ないので、あんしん君を多めに使用してください。

★『あんしん君』の堆肥化★

- 『あんしん君』は、糞尿と混和して良好な堆肥となります。おがくず入り堆肥で問題となる難分解物質（リグニン）等の含有が非常に少なく、古紙は容易に分解され、良質の発酵堆肥が出来ます。
- 『あんしん君』は、乾燥した古紙が原料なので、おがくずやもみ殻に比べて少量での水分調整が可能です。
- 現在、水分過多で堆肥化発酵の状態が良くない場合は、低水分の『あんしん君』を投入し適正な含水率に調整してください。